



## 2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日

上場会社名 ユーピーアール株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7065 URL <https://www.upr-net.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 酒田 義矢  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 尾口 順一 TEL 03 (3593) 1728  
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期第3四半期の連結業績 (2023年9月1日～2024年5月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	11,806	5.0	559	△18.4	789	△20.8	479	△24.2
2023年8月期第3四半期	11,241	13.3	685	70.8	996	11.7	631	14.0

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 504百万円 (△22.9%) 2023年8月期第3四半期 653百万円 (14.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	62.54	—
2023年8月期第3四半期	82.46	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	21,608	8,902	40.8
2023年8月期	20,898	8,505	40.4

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 8,811百万円 2023年8月期 8,436百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2024年8月期	—	0.00	—		
2024年8月期 (予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年8月期の連結業績予想 (2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,900	7.2	650	△21.7	950	△20.3	615	△17.3	80.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期3Q	7,660,000株	2023年8月期	7,660,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	504株	2023年8月期	480株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期3Q	7,659,516株	2023年8月期3Q	7,659,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、個人消費の回復に時間がかかっているものの緩やかな持ち直しの動きがみられました。先行きについては、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待される中で、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等が経済環境に与える影響には十分注意する必要があります。先行き不透明な状況が続いております。

物流業界においては、トラックドライバーの時間外労働を制限する働き方改革関連法の適用が2024年4月1日から開始となりました。何も対策を講じなければ2024年度には14%、2030年度には34%の輸送力不足の可能性があるとも言われている「2024年問題」対応として、政府は2023年6月に「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」より商慣行の見直し、物流の効率化、荷主・消費者の行動変容について抜本的・総合的な対策をまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」を閣議決定いたしました。その後、10月に2030年度の輸送力不足の解消に向け可能な施策の前倒しを図るため「物流革新緊急パッケージ」を策定し、トラックGメンによる荷主・元請事業者の監視体制の強化を行い、2024年1月に初の勧告2件の実施、2月には2030年度に向けた政府の中長期計画を発表、及び「2024年問題」に対応し、物流の持続的成長を図るため「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案」が閣議決定するなど、従来にはない積極的な姿勢で「2024年問題」の対策を着々と進めております。各社の「2024年問題」への対応にはバラつきがみられますが、レンタル方式によるパレット輸送は、荷待ちや荷役時間の短縮に有効な手段であること、パレットの回収及び流失防止の仕組みもあることから高い関心を集めており、輸送用レンタルパレットの需要は順調に推移しました。保管用レンタルパレットについては、円安の影響による輸入価格の上昇や物価上昇による消費者の節約志向などの理由により貸出先倉庫の荷動きが停滞し、在庫量が減少傾向になるなど需要は低迷しました。また、パレット保有枚数の増加に伴い、減価償却費に加え保管費用も増加しました。このような状況の中、レンタル単価の値上げについて交渉を開始しました。販管費については、2023年9月よりベースアップを実施し、人件費が増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,806百万円（対前年同期比5.0%増加）、営業利益は559百万円（同18.4%減少）、経常利益は789百万円（同20.8%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は479百万円（同24.2%減少）となりました。

各セグメントの経営成績は次の通りであります。

#### （物流事業）

物流の「2024年問題」となる働き方改革関連法の適用が2024年4月1日から始まりました。輸送力不足により運搬なくなるリスクを回避するためにパレット輸送は有効な手段であり、パレットの回収業務の負担軽減及び流失防止の仕組みが充実しているレンタル方式によるパレット輸送への関心は高まっておりますが、パレット輸送化に対する各社の取り組みにはバラつきがみられます。輸送用レンタルパレットにおいて、当社のレンタルパレットを活用した家庭紙の共同利用・共同回収は、取り扱いが増加し順調に推移しました。また、新規受注したパレット輸送案件の運用準備を開始する一方で、引き続きパレット輸送が進んでいない業界へのアプローチも進めております。5月には日本パレットレンタル株式会社との共通のサービス基盤である「X-Rental®オープンプラットフォーム」（クロスレンタルオープンプラットフォーム）の本格的な共同運用を開始し、パレット輸送化の拡大強化を図ってまいります。保管用レンタルパレットについては、港湾地区の冷蔵・冷凍倉庫向けを中心に円安の影響による輸入価格の上昇を主要因として輸入量が減少したこともあり、在庫水準が前年同期を下回るようになり、需要は低迷しました。販売は企業の物流拠点投資も継続しており好調に推移しました。また、海外事業は順調に推移しました。物流IoT事業は、引き続き医薬品等の高付加価値商品輸送（GDP）が貢献しております。アシストスーツは、サポートジャケットシリーズ新商品の販路拡大に取り組んでおります。

以上の結果、物流事業では、売上高10,961百万円（対前年同期比5.2%増加）、セグメント利益1,671百万円（同12.2%減少）となりました。

#### （コネクティッド事業）

ICTにおいて、駐車場遠隔監視ソリューションは引き続き順調に推移しました。また、DXタグについては、大口受注には至っておりませんが、牛の発情・体調管理について実証実験は増加しており、徐々に受注も増加しています。引き続き物品管理を含めて実証実験を進めており、受注の増加を図っております。ビークルソリューションは、コロナウィルス感染症による行動制限が解除され、レンタカーやカーシェアリングの需要は高まっており、車載器販売が引き続き順調に推移し、問い合わせも増加しています。また、つくば市での自主事業についても、会員の増加傾向は続いております。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高844百万円（対前年同期比2.6%増加）、セグメント損失129百万円（前年同期はセグメント損失128百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ401百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が473百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が86百万円増加したこと、及び電子記録債権が84百万円増加した一方で、その他の流動資産が246百万円減少したことによるものであります。固定資産は15,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ308百万円増加いたしました。これは主にレンタル資産増加に伴い有形固定資産が106百万円増加したこと、無形固定資産が180百万円増加したこと、及び投資その他の資産が20百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は21,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ709百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,127百万円となり、前連結会計年度末に比べ545百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金が110百万円増加した一方で、買掛金が295百万円減少したこと、その他流動負債が293百万円減少したこと、及び未払法人税等が81百万円減少したことによるものであります。また固定負債は8,577百万円となり、前連結会計年度末に比べ857百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したこと、退職給付に係る負債が58百万円増加したこと、及び役員退職慰労引当金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は12,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ312百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,902百万円となり、前連結会計年度末に比べ396百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、最近の実績の動向を踏まえ、2023年10月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2024年8月期通期連結業績予想の修正について」をご覧ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,211,230	3,685,019
受取手形及び売掛金	1,812,642	1,898,788
電子記録債権	119,211	203,268
商品	298,378	305,775
原材料及び貯蔵品	18,791	14,483
その他	576,923	330,561
貸倒引当金	△4,868	△3,646
流動資産合計	6,032,310	6,434,252
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	10,805,579	11,040,229
その他（純額）	2,536,331	2,408,615
有形固定資産合計	13,341,910	13,448,845
無形固定資産	751,325	931,731
投資その他の資産		
その他	784,784	805,447
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	772,834	793,497
固定資産合計	14,866,070	15,174,074
資産合計	20,898,381	21,608,326

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,023,634	1,728,498
1年内返済予定の長期借入金	1,514,658	1,519,924
未払法人税等	161,394	79,462
賞与引当金	237,284	347,403
役員賞与引当金	—	10,319
その他	735,690	442,032
流動負債合計	4,672,661	4,127,639
固定負債		
長期借入金	6,791,924	7,553,348
役員退職慰労引当金	568,281	605,672
退職給付に係る負債	337,320	396,224
資産除去債務	15,900	16,040
その他	6,439	6,552
固定負債合計	7,719,865	8,577,839
負債合計	12,392,526	12,705,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
資本剰余金	391,349	391,349
利益剰余金	7,935,004	8,306,783
自己株式	△923	△959
株主資本合計	8,421,430	8,793,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,808	6,232
為替換算調整勘定	5,167	12,120
その他の包括利益累計額合計	14,975	18,352
非支配株主持分	69,448	91,321
純資産合計	8,505,854	8,902,847
負債純資産合計	20,898,381	21,608,326

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2023年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年9月1日 至 2024年5月31日）
売上高	11,241,585	11,806,421
売上原価	7,603,680	8,122,535
売上総利益	3,637,905	3,683,886
販売費及び一般管理費	2,952,640	3,124,858
営業利益	685,265	559,027
営業外収益		
受取利息及び配当金	23	890
受取補償金	314,592	236,107
その他	36,062	34,977
営業外収益合計	350,677	271,975
営業外費用		
支払利息	27,908	35,993
その他	11,360	5,324
営業外費用合計	39,268	41,317
経常利益	996,674	789,685
特別利益		
固定資産売却益	216	416
特別利益合計	216	416
特別損失		
固定資産除却損	1,433	2,565
特別損失合計	1,433	2,565
税金等調整前四半期純利益	995,457	787,535
法人税、住民税及び事業税	424,582	294,942
法人税等調整額	△75,909	△6,368
法人税等合計	348,672	288,573
四半期純利益	646,784	498,962
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,145	19,950
親会社株主に帰属する四半期純利益	631,639	479,011



## （四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2023年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年9月1日 至 2024年5月31日）
四半期純利益	646,784	498,962
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2,325	△3,576
為替換算調整勘定	9,404	8,876
その他の包括利益合計	7,079	5,300
四半期包括利益	653,864	504,262
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	635,463	482,389
非支配株主に係る四半期包括利益	18,400	21,873

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2023年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,418,167	823,418	11,241,585	—	11,241,585
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	10,418,167	823,418	11,241,585	—	11,241,585
セグメント利益又は 損失(△)	1,904,921	△128,383	1,776,538	△779,863	996,674

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△779,863千円には、セグメント間取引消去4千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△779,868千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年9月1日 至 2024年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,961,518	844,902	11,806,421	—	11,806,421
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	10,961,518	844,902	11,806,421	—	11,806,421
セグメント利益又は 損失(△)	1,671,578	△129,431	1,542,147	△752,461	789,685

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△752,461千円には、セグメント間取引消去△3千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△752,458千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。